

ささむら 直也

県政レポート vol.6

ごあいさつ

平素より大変お世話になり、本当にありがとうございます。
4月30日で1期目の任期がちょうど折り返しとなりました。
皆様のおかげで日々の活動が行えていることに感謝の気持ちでいっぱいです。

引き続き丁寧に、愚直に、謙虚に頑張って参りますので、
あたたかいご指導とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い
いたします。



1期目 前半の歩み

令和5年4月	県議会議員としての任期がスタート
5月	県議会・土木建築委員会副委員長に就任
9月	本会議で初の一般質問に登壇(現在計3回登壇)
6年10月	県議会・決算特別委員会副委員長に就任
7年4月	任期が折り返しを迎える
5月	県議会・農林水産委員会副委員長に就任

令和5年9月 定例会

一般質問

- ① 戦略的な広報の推進
- ② クルーズ船の誘致による外国人観光客の誘客
- ③ 孤独・孤立対策
- ④ へき地を支える総合診療医の育成
- ⑤ 県立高校再編
- ⑥ 部活動の地域移行



令和6年2月 定例会

投票箱

- ① 投票率の向上
- ② 主権者教育
- ③ ライドシェア等の普及・拡大
- ④ 地域における食料安全保障の考え方
- ⑤ へき地医療を担う医師の確保策
- ⑥ 県の行財政改革に伴う公の施設の今後の管理

令和6年11月 定例会



- ① 郷土愛を育む教育
- ② 外部活力の導入による産業振興
- ③ ワットビット連携構想による企業誘致
- ④ 友好都市・姉妹都市の活用と国際交流、地域外交
- ⑤ 災害への備え
- ⑥ 放課後子ども教室のスタッフの処遇改善

安全・安心の確保

- 計画的な県道の草木の伐採、河川の浚渫の実施
- 県道や横断歩道のラインの引き直し
- 避難所にプライバシー保護のための間仕切りを配備

産業・観光の振興

- やまぐち EC エール便(送料無料キャンペーン)の対象店舗拡大
- 広報誌「ふくの国 山口」の創刊で、県内外に山口県の魅力 PR を実現
- 台湾で村岡知事らとともに萩の地酒など、県産品をトップセールス

行財政改革

- 赤字額が多い萩ウエルネスパークの萩市への移管を見送り、県有施設として維持
- 税金のムダ使いをできるだけ省いたスマートな県政運営の実現



税金のムダ使いをできるだけ省いたスマートな県政運営の実現



事業概要

萩市紫福（旧福栄村）の大井川に、南北約 100mの堆積物がたまり（写真①）大雨などの時に河川が氾濫し、周囲の民家に浸水被害などが生じる危険があったため、令和 6 年度当初予算で約 2,400 万円を予算措置。田の真ん中に工事用の仮設道路を設置（写真②）し、広島県の業者から大型機械をリースし、地元建設会社が堆積物を除去する工事を実施した。



市民からの声&問題点

「ちょっと話を聞いてほしいことがある」。地元住民の皆様からの要望を受けて現地に足を運び、話を聞いた。

本来、予算内ですべての堆積物を撤去できるはずが、予定外の工法が必要となって、工事価格が膨れ上がり、全体の約 4 割にあたる 40mほどしか撤去できなかった。

しかし、工事が年度をまたぐと再度の予算措置が必要となり、いったん仮設道路を撤去、さらに大型機械も広島県の業者に返し、令和7年度になって再度仮設道路を設置、機械をリースする必要があり、ムダではないか。一気に工事を済ませることはできないだろうか？



結果



行政は「予算単年度主義」であり、ある事業に対して措置した予算はその年度内で対応することが原則である。しかし、この場合は明らかな「二度手間」。貴重な税金が有効に使われているとは言えない状況であり、要望を受けてその足で県に相談。日頃から密に職員の方とコミュニケーションを取っていたことから、状況を理解してもらい、急きょ予備費を約700万円確保し、工事を継続して堆積物を除去することができた。

税金のムダ使いを未然に防ぎ、また住民の安全・安心につながる工事を早く完了できた。住民の皆さんの声を県につないで形になった良い事例だったと思っています。

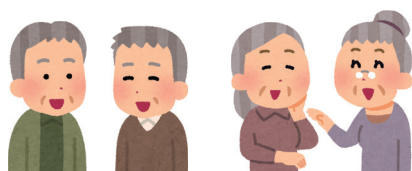
／これからも **地域の声** を大切に、一生懸命取り組みます！／

出前・県政報告 いたします！

敬老の日



町内会や自治会の会合、あるいはお友達同士のおしゃべり会などなど…ご要望に応じて、県政報告に伺います。テーマや時間などについてもご相談に応じます。お気軽に事務所までご連絡ください。



山口県議会議員
ささむら直也 事務所

〒758-0025 萩市土原ヨシノビル 1 階
TEL 0838-21-5495 FAX 0838-21-5496